

青森市災害被害想定調査の結果を踏まえた見直しについて

○現状と検討経緯

東日本大震災以降、国においては、防災対策に関する基本的な計画である「防災基本計画」の見直しを行っており、「あらゆる可能性を考慮した最大クラスの地震・津波を想定し、対策を推進する」ことを計画の中に定め、青森県では「平成 25 年度青森県・地震津波被害想定調査」を実施した。

本市においては、このような国や県の動向を踏まえ、より詳細に本市の状況を反映した被害予測を行うため、平成 26 年度より平成 27 年度にかけて青森市全域を対象とする被害想定調査を実施し、その結果については、平成 28 年 2 月に本防災会議へ報告したところである。

○主な修正事項一覧

本調査結果において、現行の本市地域防災計画の内容と比較し、地震動や地質などの自然的条件等に関する新たな知見が示されていることから、内容の相違が見られる部分を修正する。

<修正事項一覧>

- ・ 第 1 章 総則 第 7 節 青森市の自然的・社会的条件
青森市の面積 (P17)、地形分類図 (P24)、表層地質図 (P26)

- ・ 第 1 章 総則 第 9 節 青森市の地震環境
青森市付近震源分布垂直断面図 (P60)、4. 内陸で発生する地震 (P61)
入内断層の活動調査結果 (P62)

- ・ 第 1 章 総則 第 11 節 地震・津波災害の想定
第 2. 青森市地震防災アセスメントの調査結果 (P64～70)
1. 想定地震の設定等

最新の知見にデータを修正する。

○今後について

本調査については、今後も市の各種防災施策検討の基礎資料として活用するなど、防災対策の充実に資するものとする。